

門司港開発株式会社

I 法人の概要 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

1 所在地	北九州市門司区港町 9 番 11 号
2 設立年月日	平成 7 年 12 月 6 日
3 代表者	代表取締役社長 奥野 照章
4 基本財産	1,572,500 千円
5 北九州市の出資金	375,000 千円 (出資の割合 23.9%)
6 役員員数	・役員数 9 人 うち常勤 2 人 (うち北九州市からの派遣職員 0 人) うち非常勤 7 人 ・職員数 3 人 (うち北九州市からの派遣職員 0 人)

II 平成 23 年度事業実績

当期における我が国の経済は、東日本大震災による深刻な落ち込みからは緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、個人消費や雇用情勢の低迷に加え、急速な円高の進行や海外経済の減速などの要因が重なり、景気は依然として不透明な状況が続いた。

このような経営環境のもとではあったが、ADR 計画第 2 期目の当期は、経常利益において、ADR 計画 2 期目の数値目標に対して、47 百万円上回る結果となり、概ね計画どおりに推移した。

事業別に見ると、ホテル事業について、宿泊部門は、客室の年間稼働率 70.6%と前期比で 4.9%上昇し約 8 百万円の増収となった。婚礼・一般宴会部門は、件数並びに売上げ共に目標を下回った。レストラン部門は、門司港の名物「焼きカレー」人気の影響もあり、前期並みの売上げを確保した。しかし、ホテル全館での売上げは、目標並びに前期売上げに満たず、厳しい状況下にある。

次に、オフィス棟は、当期に新たな入退店はなかった。駐車場については、海峡プラザ東側の私有地を借地し、市借地とあわせて時間貸駐車場として整備し、昨年 12 月末から営業を開始した。このことが、プラザの集客対策とあわせてホテル駐車場の減収も補填できることとなった。

商業施設「海峡プラザ」は、ADR 計画より 1 年遅れとなったが、運営管理会社シーレックス株式会社との業務委託導入もあり、前期比 86 百万円(7.5%)の増収となった。

以上の結果、当社の当期の売上高は 585,041 千円と前期に比べ 11,392 千円(2.0%)の増となった。営業利益は 47,921 千円(前期比▲17.8%)、経常利益は▲28,981 千円(前期比▲17.0%)、当期純利益は、特別損失が前期より減少したため▲40,551 千円と前期に比べ 19,438 千円(32.4%)の赤字減少となった。

今期の設備投資の状況としては、門司港ホテルの「ガーデンルーム門司港園」新設及び客室の改装、海峡プラザの空調設備入替を行った。

Ⅲ 平成23年度決算

1 貸借対照表

平成24年3月31日現在(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	174,093	I 流動負債	382,402
現金及び預金	106,635	短期借入金	241,883
売掛金	28,770	未払金	58,425
前払費用	10,660	未払費用	15,041
未収入金	7,369	未払法人税等	2,809
立替金	19,052	預り金	47,565
未収消費税	1,604	前受収益	15,289
II 固定資産	3,499,705	賞与引当金	91
有形固定資産	3,489,464	その他	1,297
建物	3,408,652	II 固定負債	2,907,513
構築物	31,417	長期借入金	2,601,199
機械装置	8,231	長期未払金	154,392
工具器具備品	41,163	預り保証金	151,922
無形固定資産	2,001	負債合計	3,289,916
電話加入権	734	(純資産の部)	
施設利用権	1,266	株主資本	383,882
投資その他の資産	8,239	資本金	1,572,500
長期前払費用	8,149	利益剰余金	▲ 1,188,617
その他	90	その他利益剰余金	▲ 1,188,617
資産合計	3,673,799	純資産合計	383,882
		負債及び純資産合計	3,673,799

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

2 正味財産増減計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
売上高	585,041	特別損失	10,506
売上原価	490,578	固定資産除却損	10,506
売上総利益	94,462	税引前当期利益	▲ 39,488
販売費及び一般管理費	46,541	法人税、住民税及び事業税	1,063
営業利益	47,921	当期純利益	▲ 40,551
営業外収益	7,591		
受取利息及び配当金	20		
雑収入	7,570		
営業外費用	84,495		
支払利息	83,992		
雑損失	503		
経常利益	▲ 28,981		

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

IV 平成24年度事業計画

平成24年度は、ADR3ヶ年計画の最終年にあたる。過去2ヶ年は、門司港ホテル・海峡プラザに対する徹底した管理の下、門司港ホテルにおいては、約150百万円をリニューアル費用に充て、特に、客室・宴会場等、収益に直接関係する箇所を重点的に改修した。そのため、来期の門司港ホテルの売上は、ADR計画の真価を問われる重要なものとなる。

一方、海峡プラザは、経年劣化設備の全面更新並びに時間貸し駐車場を開設するなど、集客機能を強化するとともに、運営管理会社シーレックス㈱を通じて店舗毎の指導も行き、更なる魅力ある新生「海峡プラザ」を目指す。

V 平成24年度予算

1 収支予算書

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
売上高	596,000	特別損失	0
売上原価	442,000	固定資産除却損	0
売上総利益	154,000	税引前当期利益	34,000
販売費及び一般管理費	39,000	法人税、住民税及び事業税	1,000
営業利益	115,000	当期純利益	33,000
営業外収益	0		
受取利息及び配当金	0		
雑収入	0		
営業外費用	81,000		
支払利息	81,000		
雑損失	0		
経常利益	34,000		

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

VI 役員名簿

平成24年7月1日現在

役職名	氏 名	所 属
取締役	奥 野 照 章	門司港開発㈱代表取締役社長
取締役	大 島 博	門司港開発㈱取締役管理部長
取締役	野 畑 昭 彦	門司港運㈱代表取締役社長
取締役	中 崎 剛	北九州市港湾空港局長
取締役	恵 下 弘 幸	若築建設㈱九州支店副支店長
取締役	石 川 幸 男	㈱邑本興産代表取締役社長
監査役	白 川 祐 治	㈱福岡銀行取締役常務執行役員
監査役	辻 本 孝 幸	東海運㈱執行役員九州事業部長
監査役	中 富 美 津 男	北九州市港湾空港局地元調整相談役